

質 疑 回 答 書

件名 次期特定健診等データ管理システム導入・移行及び運用業務

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
1	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 8 ページ	「次期特定健診等データ管理システム導入・移行業務仕様書」 6 外付けシステムの移行・切替 連合会が開発した「福岡県国保連合会外付けシステム」 見積作成に際し必要な情報となるため、今回移行対象となる、特定健診に関する現行の連合会が開発した「福岡県国保連合会外付けシステム」のシステム構成図および下記の詳細情報をご提供ください。 ①外付けシステムの数、名称 ②外付けシステムの開発言語（例：Access, Java） ③外付けシステムの規模（母体 Steps 数） ④今回移行対象となるシステム	「福岡県国保連合会外付けシステム」のシステム構成図については作成していないため、提供できません。詳細情報については、以下のとおり回答いたします。 ①外付けシステムの数、名称 リアルタイム帳票（帳票数 46） JP1 実行バッチ（作成物数 16） ②外付けシステムの開発言語 Java SQL ③外付けシステムの規模 リアルタイム帳票 SQL：5,661 Step ソース：233,772 Step JP1 実行バッチ SQL：8,591 Step ④今回移行対象となるシステム ①と同じ

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
2	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 3 ページ	「次期特定健診等データ管理システム導入・移行業務仕様書」 1. はじめに 1.2. 履行期間 ※ 次期標準システム導入・移行後から令和 8 年 3 月 31 日までの運用業務については、現行の運用業者が行うもの。 上記の現行の運用業者による運用期間において、現行の運用業者から次期運用業者へ引継ぎ作業を実施していただけたと考えてよろしいでしょうか？	現行の運用業者から次期運用業者に対する引継ぎ作業の実施は想定しておりません。
3	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 4 ページ	2. 運用業務の作業範囲 対象機器は運用管理端末のみであるため、連合会業務端末・保険者業務端末に係る障害の対応は範囲外の認識で問題ないでしょうか。	問題ございません。
4	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 6 ページ	3.1. 業務処理内容 項番 3「システム運用における問合せ等（随時）」について、令和 5 年度および令和 6 年度の実績件数をご教示いただけますでしょうか。	項番 3「システム運用における問合せ等（随時）」の実績件数については、令和 5 年度 35 件、令和 6 年度 75 件となります。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
5	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 8 ページ	3. 1. 業務処理内容 外付けシステム帳票について、運用保守仕様書に記載がないものについては受託者の作業対象外（職員様にて出力される）の認識で問題ないでしょうか。	7 ページから 8 ページの項番 5 ～ 9 の項目についてとのごとでございましたが、運用保守仕様書に記載がない帳票やリストは現状ございませんので、作業対象外です。 しかし、今後、システムを運用するにあたって必要なものが出てきた場合は別途協議させていただきたいと考えております。
6	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 10 ページ	5. 1. 運用サービスレベル事項 サービスレベルを満たせなかった場合の評価への反映についてどのような運用を想定されているかご教示ください。	運用サービスレベル事項を満たすことが運用業務の前提となります。
7	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 10 ページ	5. 1. 運用サービスレベル事項 サービスレベルの達成状況は業務完了報告書等で報告対象となりますでしょうか。	サービスレベルの達成状況は業務完了報告書等で報告いただく必要はございません。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
8	次期特定健診等 データ管理システム運用業務仕様書 15 ページ	9. 1. 成果品 「②システム障害等発生時における復旧作業報告書（随時）」について、中央会・保険者・連合会・受託者等の起因によって作成する/しないが異なるのでしょうか。	「②システム障害等発生時における復旧作業報告書（随時）」については、受託者の起因によってシステム障害等が発生した場合に作成するものとなります。
9	次期特定健診等 データ管理システム導入・移行仕様書 10 ページ	3. 3. 作業項目別の役割分担 「移行リハーサル」について、現行標準システム運用業者に「○」の記載がありませんが、現行システムへのデータ移行ツール導入やデータ抽出作業等についても、次期標準システム業者にて行うことを想定されていますでしょうか。その場合、データ移行作業後に通常業務が問題なく行える状態であることを現行標準システム運用業者で確認される流れとなりますでしょうか。	現行システムへのデータ移行ツール導入やデータ抽出作業等についても、次期標準システム業者にて行うことを想定しております。 データ移行作業後に通常業務が問題なく行える状態であることについては、現行標準システム運用業者で確認することとなります。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
10	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 8 ページ	3.2. 作業内容 6 外付けシステムの移行・切替 「福岡県国保連合会外付けシステム」について、現行運用で利用しながら、次期標準システムに接続してテスト検証を行うことが想定されますが、そのような場合、外付けシステム開発業者にて対応いただける認識問題ないでしょうか。	「福岡県国保連合会外付けシステム」のテスト検証については、外付けシステム開発業者にて実施する想定です。詳細については、契約締結後、提示いたします。
11	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 7 ページ	3.1. 業務処理内容 (2) システムデータ管理業務 「外付けシステム保守サポート業務」に係る年間の件数をご教示いただけますでしょうか。	「外付けシステム保守サポート業務」に係る年間の件数は、システムの更新作業等を含めて年間 60 件程度となります。このシステムの運用業務については外付けシステム開発業者にて実施する想定です。 なお、次期運用業者の外付けシステム保守サポート業務として行っていただきたい業務内容としては、外付けシステム帳票の改修等が必要となった際、改修内容を外付けシステム開発業者に依頼する際の支援等を行っていただきたいと考えております。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
12	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 3 ページ	「次期標準システム導入・移行後から令和 8 年 3 月 31 日までの運用業務については、現行の運用業者が行うもの」と記載されていますが、その期間において、現行業者へ作業手順書の提示や作業引継ぎ、初回処理の立ち合い、想定外の事象が発生した場合の対応は必要との認識でよろしいでしょうか。	現行運用業者から変更となった場合、次期標準システム導入・移行後から令和 8 年 3 月 31 日までの運用業務については、次期標準システムの作業手順書を提示いたしますが、引継ぎ作業、初回処理の立ち合いを実施することは現時点では予定していません。 なお、想定外の事象が発生した場合の対応については、その際、本会、現行運用業者、次期運用業者にて協議の上対応方法を決定いたします。
13	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 8 ページ	本番移行時や外付けシステム移行・切替時など、現行標準システム運用業者の支援が必要な場合、現行標準システム運用業者分の費用も落札業者にて負担するとの認識でよいでしょうか。	現行運用業者から変更となった場合、本番移行時や外付けシステム移行・切替時など、現行標準システム運用業者の支援を要する場合は、本会と現行運用業者、次期運用業者にて協議の上、対応方法を決定いたします。
14	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 8 ページ	本番移行時や外付けシステム移行・切替時など、現行標準システム運用業者の支援が必要な場合、作業や費用の調整は連合会様含めた 3 者で実施する想定でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
15	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 9 ページ	外付けシステム帳票（EXCEL 帳票）は業務効率化のため に弊社が独自で構築した仕組みを使って作成してお り、弊社環境でのみ作成可能となっております。弊社 以外の業者が落札した場合、この部分の仕組みについ ては、落札業者が再構築するという想定でよろしいで しょうか。	外付けシステム帳票（リアルタイム帳票）については、現 行環境の接続先を次期環境の接続先に変更した上で使用 しますので、落札した業者が仕組みの再構築を行うことは ございません。 作業については、次期運用業者が次期特定健診等データ管 理システム側のネットワーク設定（国保中央会への通信要 件の申請等）を行い、現行運用業者が独自基盤上の外付け システム（リアルタイム帳票）側のネットワークの設定を 行う予定です。
16	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 9 ページ	外付けシステム帳票（EXCEL 帳票、リアルタイム帳票） は独自システムから標準システム DB を直接参照して 作成しています。次期でも標準システム DB を直接参照 して作成する想定でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
17	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 9 ページ	No. 16 の回答が「直接参照しない」の場合、新規に標準 システムから独自システムにデータ連携する仕組みの 構築が必要との認識でよいでしょうか。	No. 16 の回答のとおりです。

番 号	仕様書ページ	質 疑 事 項	回 答
18	次期特定健診等 データ管理シス テム導入・移行 仕様書 9 ページ	外付けシステム帳票（リアルタイム帳票）は弊社管理のスキーマでのみ動作可能な仕組みとなっています。弊社以外の業者が落札した場合、この部分の仕組みについては、落札業者が再構築する想定でよろしいでしょうか。	No. 15 の回答のとおりです。
19	次期特定健診等 データ管理シス テム運用業務仕 様書 6 ページ	問い合わせや随時の作業依頼の管理について、受託者側でサーバを用意し、管理ツール（Redmine 等）を利用した管理が必要でしょうか。	現行運用業者から変更となった場合は、問い合わせや随時の作業依頼の管理について、本会と協議の上、管理方法を決定します。